| 学校番号 | ３０５ |
|---|---|

# 令和３年度　芸術科（美術）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅰ | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校生の美術１」　（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 自主教材プリント等 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身の周りのものや美術作品をあらためて見直してみましょう、美しさやその理に心を集中させてもう一度観察して下さい。
・どうすれば自分の表したいものに近づけるかを考えて、自分なりに工夫して表現しましょう。
・意図したものが表現できるように、自分のイメージを深めましょう。
・表現する喜びを味わいましょう。

## 2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:美術への関心・意欲・態度 | b:発想や構想の能力 | c:創造的な技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 | 感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し創造的な表現の構想を練っている。 | 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 | 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 制作の様子<br>ワークシート<br>鑑賞活動やグループワークの様子 | ワークシート<br>アイデアスケッチ<br>制作途中の作品<br>作品 | 制作途中の作品<br>作品 | ワークシート<br>発言内容 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 美術と自分 | 【鑑賞】【絵画・彫塑】<br>・オリエンテーション<br>・模写<br>教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。<br>一つ作品を選び模写する。<br>・自己紹介<br>文字と絵で表現する。 | ◎<br>◎ | ◎ | ○ | ○ | a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。<br>b:自分のイメージを、文字と絵で表現する。<br>c:教科書の作品を色や形に留意し模写する。<br>d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 | 学習活動の様子<br>ワークシート<br>制作の様子<br>作品 |
| | つながる模様 | 【デザイン】【鑑賞】<br>・色彩基礎<br>・色彩構成<br>色のつながりや明度差を利用してグループ全員の模様がつながって見える共同作品を作る。<br>作品を貼り合わせ、一枚の作品として鑑賞する。 | ◎<br>◎ | ○<br>○ | ○<br>◎ | ○ | a:模様のパターンの中に美しさを追求し、絵の具を混色することで美しい色を出そうと試みている。<br>b:形や色彩の働き、また条件を考え、美しく表現している。<br>c:アクリルガッシュの特性を生かし、むらなく、美しく塗れている。<br>d:色を色相でまとめ、色彩計画についての考察を深め、色の個性を知る | 発表の様子<br>制作の様子<br>製作途中の作品<br><br>作品 |
| | シルクスクリーン版画 | 【デザイン】<br>・自分のイニシャルをデザインする。<br>・バッグにシルクスクリーンで印刷する。 | ◎<br>◎ | ◎ | ◎ | | a:自由なアイデアを大切にしながら、文字のエレメントや発想のプロセスに着目し、多角的に文字をデザインする。<br>b:デザインする面白さに気づき、制作する。<br>c:シルクスクリーンのカッティング法を表現に生かし美しく刷りあげる。<br>d:版による表現の方法を知り、表現に生かす。 | 制作の様子<br>製作途中の作品<br><br>作品 |
| | 自画像 | 【絵画・彫塑】【鑑賞】<br>・教科書に載っている自画像の作品や作家の自画像を鑑賞する。<br>・鉛筆によるデッサン。<br>顔の向きや角度を変えて自分の目を描く。 | ◎<br>◎ | ○ | ◎ | ◎ | a:モチーフを表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。<br>b:光や陰影、面等を把握して形態を表現している。<br>c: 鉛筆の芯を整え、線を重ねることにより暗さの段階を出す。<br>d:上下左右の角度変化によりものの見え方が違うことを理解する。 | アイデア<br>スケッチ<br>ワークシート<br>制作の様子<br>製作途中の作品<br><br>作品 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | ポスター制作 | 【デザイン】【鑑賞】<br>・教科書の作品等を鑑賞する<br>・描写<br>愛着のある物を探して題材とし、想いが伝わる様にデザインする。<br>・相互鑑賞 | <br><br><br><br><br>◎ | <br>○ | <br>○ | ○<br><br><br><br>◎ | a:用意した題材への自分の思いをまとめ、発表する。<br>b:物の感じを捉えて表現する。<br>c: アクリルガッシュの特性を生かし、むらなく、美しく塗れている。<br>d:良さや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品についての理解を深めている。 | 鑑賞ワークシート<br>制作の様子<br>制作途中の作品<br><br>作品 |
| | 塑造 | 【絵画・彫塑】【鑑賞】<br>・将来の働いている自分をイメージして構想を練る。<br>・構想にそった造形を粘土でモデリングし、キャラクターのイメージに合うように色のトーンを考えてアクリル絵の具で彩色する。<br>・相互鑑賞 | ◎<br>◎<br><br><br><br>◎ | ◎<br>◎ | ○<br>◎ | <br><br><br><br>◎ | a:テーマを決めて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。<br>b:テーマを基に感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。<br>c:意図に応じて粘土や着彩の表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。<br>d:色のトーン（調子）についての考察を深め、表現に生かしている。 | 制作の様子<br><br>アイデア<br>スケッチ<br>鑑賞ワークシート<br>製作途中の作品<br><br>作品 |
| | 靴のデザイン | 【デザイン】【鑑賞】<br>・理想の靴というイメージを膨らませて、デザインする。<br>・自分の足型をダンボールに写し、ダンボールの素材変化を活用し、色によるイメージ表現を考え、絵の具の使い方も工夫して彩色する。<br>・相互鑑賞 | ◎<br>◎<br><br><br><br>◎ | ○<br>◎ | <br>◎ | <br><br><br><br>◎ | a:自分の好きなものからイメージをふくらませて表現することや、ダンボールの素材を変化させることに興味を持ち、主体的に取り組もうとしている。<br>b:感性や想像力を働かせて表現の構想を練っている。<br>c:ダンボールの素材や絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。<br>d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品についての理解を深めている。 | 制作の様子<br>アイデア<br>スケッチ<br>ワークシート<br>製作途中の作品<br><br>作品 |

4　学習の活動

※　表中の観点について　a…関心・意欲・態度　　b…発想や構想の能力
　　c…創造的な技能　　d…鑑賞の能力

※　年間指導計画作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。